



## 2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社 エコミック  
コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	361	9.6	65		65		53	
2025年3月期第1四半期	330	6.7	88		78		61	

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 60百万円 ( %) 2025年3月期第1四半期 41百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	11.30	
2025年3月期第1四半期	13.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,806	1,679	93.0
2025年3月期	1,969	1,801	91.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,679百万円 2025年3月期 1,801百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		13.00	13.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	690	12.0	186		180		117		25.04
通期	2,313	9.0	150	220.4	158	156.0	116	168.4	24.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	4,693,200 株	2025年3月期	4,693,200 株
2026年3月期1Q	60 株	2025年3月期	60 株
2026年3月期1Q	4,693,140 株	2025年3月期1Q	4,693,140 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料を後日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しておりますが、米国の通商政策等による不透明感が見られる状況でした。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっております。また、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当業界におきましては、人手不足感が高い水準で推移していることや、定期給与及び給与総額の増加など、雇用・所得環境が変化する中で、各種クラウドサービスやAI等の発展により、企業の効率化、省力化への動向が続く、事業再構築やBCP(事業継続計画)の手段としてのアウトソーシングニーズは引き続き高い状況でありましたが、その分競争環境も激化しております。

このような環境のもと、当社グループは「カスタマーサクセス」をミッションに掲げ、「顧客企業の生産性向上に寄与し、顧客企業の成長を支える」ことを実現するためにサービスの開発及び提供をしております。これまで培ってきたBP0に関するノウハウと、自社HRテックをはじめとしたクラウドサービスを掛け合わせて、各企業のニーズに沿ったオーダーメイド型のBPaaS(企業が特定の業務プロセスを外部の企業にアウトソーシングし、クラウドサービスを活用して業務効率化を図るサービス)の提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく、「バックヤード業務のソリューションプロバイダー」として付加価値の高いサービスを提供してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高に関しては、前連結会計年度から行っているサービス比較サイトへの出稿などのWEBマーケティング施策に加えて、リードが発生した顧客に対するインサイドセールス機能の強化などを積極的に行った結果、新規のお問合せ数や受注状況が順調に推移しほぼ当初計画通りとなりました。また、利益に関しては、売上原価、販売費及び一般管理費ともに当初計画に近い水準で推移しましたが、当社のビジネスモデルは売上高及び利益が下期に偏重するため、営業損失となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は361,970千円(前年同四半期比9.6%増)、営業損失は65,522千円(前年同四半期は営業損失88,096千円)、経常損失は65,605千円(前年同四半期は経常損失78,554千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は53,038千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失61,391千円)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、当社グループの報告セグメントを「BPaaS事業」の単一セグメントに変更しております。詳細は、「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,431,770千円となり、前連結会計年度末に比べ152,108千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が171,984千円減少したことによるものであります。固定資産は374,905千円となり、前連結会計年度末に比べ10,886千円減少いたしました。これは主にソフトウェアが4,281千円及びのれんが3,918千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,806,676千円となり、前連結会計年度末に比べ162,995千円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は114,940千円となり、前連結会計年度末に比べ28,134千円減少いたしました。これは主にその他の流動負債が15,101千円及び未払法人税等が8,380千円減少したことによるものであります。固定負債は12,005千円となり、前連結会計年度末に比べ13,516千円減少いたしました。これは繰延税金負債が13,516千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は126,945千円となり、前連結会計年度末に比べ41,651千円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,679,730千円となり、前連結会計年度末に比べ121,343千円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が114,048千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は93.0%(前連結会計年度末は91.4%)になりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日に発表いたしました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,350,918	1,178,934
売掛金	174,756	196,158
製品	1,430	1,430
その他	56,868	55,354
貸倒引当金	△96	△107
流動資産合計	1,583,879	1,431,770
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	49,736	50,038
その他(純額)	28,767	27,591
有形固定資産合計	78,504	77,629
無形固定資産		
ソフトウェア	179,816	175,534
のれん	32,626	28,708
その他	10,257	10,631
無形固定資産合計	222,699	214,873
投資その他の資産		
繰延税金資産	12,844	14,259
敷金及び保証金	60,639	60,036
その他	11,104	8,106
投資その他の資産合計	84,588	82,402
固定資産合計	385,792	374,905
資産合計	1,969,671	1,806,676
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,102	21,995
未払金	21,510	18,964
未払法人税等	14,732	6,352
その他	82,729	67,628
流動負債合計	143,074	114,940
固定負債		
繰延税金負債	25,522	12,005
固定負債合計	25,522	12,005
負債合計	168,596	126,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,284	564,284
資本剰余金	399,199	399,199
利益剰余金	786,824	672,775
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,750,273	1,636,224
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	50,801	43,506
その他の包括利益累計額合計	50,801	43,506
純資産合計	1,801,074	1,679,730
負債純資産合計	1,969,671	1,806,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	330,333	361,970
売上原価	276,067	282,192
売上総利益	54,266	79,777
販売費及び一般管理費	142,363	145,300
営業損失(△)	△88,096	△65,522
営業外収益		
受取利息	878	359
受取手数料	1,470	1,301
助成金収入	3,662	—
デリバティブ評価益	7,654	—
その他	182	58
営業外収益合計	13,847	1,718
営業外費用		
支払利息	358	—
為替差損	3,926	1,589
その他	19	211
営業外費用合計	4,304	1,801
経常損失(△)	△78,554	△65,605
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,554	△65,605
法人税等	△17,162	△12,567
四半期純損失(△)	△61,391	△53,038
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,391	△53,038

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△61,391	△53,038
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	19,634	△7,294
その他の包括利益合計	19,634	△7,294
四半期包括利益	△41,757	△60,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,757	△60,333

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは「BPaaS事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は従来、「BP0事業」を報告セグメントとしており、報告セグメントに含まれない「ソフトウェア・ハードウェア開発事業」を「その他」に区分しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より「BPaaS事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「その他」に区分していた「ソフトウェア・ハードウェア開発事業」によるソフトウェア開発のうち「BP0事業」のサービスに関連する部分について「BPaaS事業」として統合しました。その結果「その他」は重要性が乏しくなったため省略したものであります。この変更により前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	24,796千円	27,135千円
のれんの償却額	3,918	3,918